屋 Ш 歴 史

芦屋市指定文化財

芦屋川の文化的景観

9

芦屋川のまわりには、数多くの歴史文化遺産があります。 ここでは、芦屋川沿いの主な歴史文化遺産を紹介します。

0

史文化

⑧阪神大水害芦屋川決壊之地石碑

年(1938)

和15年〈1940〉)の大半は精道村(明治22年〈1889〉 出によって、芦屋市の前身であるた。それに伴う土砂崩壊や岩石流 ミリメートル)を測る大暴風を伴 よって芦屋川と宮川が氾濫しまし う豪雨となり、土石流の発生 6月28日から降り出した雨は、7 月5日には最大雨量(1日326 は空前の大水害に見舞われました。 (明治22年〈1889〉~ 、阪神地方 泥。

> 阪神大水害芦屋川 決壊之地石碑

58戸 堤防の破損決壊10となっています。 流出14戸、全壊14戸、半壊111戸、 況は、死者3人、重傷者2人、家屋 床上浸水790戸、床下浸水14 開森橋東詰付近の決壊場所には この水害による精道村の被害状 、橋梁流出6、破損8、道路

> られています 決壊之地」と刻まれた石碑が建て 988)7月に「阪神大水害芦屋川 水害から50年たった昭和63年 $\widehat{1}$

丸 翁う 頌は 徳 碑心

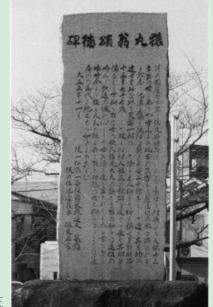
正5年(1916)に芦屋遊園地内 つくった猿丸又左衛門安時(18この石碑は、奥池(奥山溜池)を 建立されたものです。 1879)を称えるため、大

水争いが絶えませんでした。そこりが続くと田畑の水不足に悩み、江戸時代に、芦屋の村々は日照 ⑩初代桜橋の橋脚 碑が遺されています。めづらん」と詠んだ奉献梅樹の句 をうえおかば

当時、芦屋村の年寄であった猿

墓地にあります。また、芦屋神社 東方約100mに位置する猿丸家 開につとめ、幕府および県令から が76歳の時に「万代のぬさにと梅 たびたび表彰されました。 (東芦屋町)社殿の裏庭には、安時 安時の墓所は、阪急芦屋川 総代庄屋として村政の窮迫の 花咲くごとに神や 駅の

時は幕末から明治にかけて18カ村 $\frac{8}{4}$ 丸又左衛門安時は、 奥池を築造しました。また、安 から約20年の歳月をかけ 天 保 12 年(1



猿丸翁頌徳碑

側に架かっています は3代目です。 住民が芦屋川右岸側にある大正9 に行く利便性を図るために、大正 初代の桜橋は、芦屋川左岸側の 桜橋 (1920)開設の阪急芦屋川駅 は っています。現在のもの、阪急芦屋川駅のすぐ北

【主な参考文献】 『芦屋 今むかし』〈市制施行50周年記念写真集〉 芦屋市1990年

芦屋市文化振興財団1992〜2000年 『芦屋のうつりかわり』〈市制施行50周年記念写真集〉

芦屋市1990年

芦屋市教育委員会1979年 芦屋市1971年 芦屋市2011年

『芦屋子ども風土記』第1~9集

『新修芦屋市史』本篇 『新修芦屋市史』続篇

『芦屋の自然』自然観察ガイドブック 『芦屋の生活文化史- 民俗と史跡をたずねて-』

『みんなで語り、伝えよう!芦屋川物語』六甲の川物語 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所ホー

※このページでは、生涯学習課が発行した「芦屋川の歴 史」を広報国際交流課が再編集して紹介しています。

桜橋の橋脚

ています。 道具)を入れ込む「矢穴」が彫ら 石材を割るために矢(くさび形 の石材は、徳川大坂城 山東

いる2石 れています。徳川大坂城は、幕藩体この大坂城は「徳川大坂城」と呼ば 場は西宮市から芦屋市、神戸市 ちが工事を分担した「天下普請制の下、西日本の64家もの大名 寛永6年(1629)にかけて、徳びた後、元和6年(1620)から れた発掘調査で出土したもので、 町で平成21年(2009)に実施 六甲採石場に含まれる芦屋市西 芦屋川沿いに移設して展示されて 東六甲採石場」と呼ばれています。 分布しており、現在、「徳川大坂 灘区にかけての六甲山中や山麓に 築かれました。 徳川大坂城の石垣用石材の採 幕府によって再築されました。 大名た 城

①徳川大坂城東六甲採石場の石材 8)の阪神大水害によって損壊し、 に改修されて現在に至ります。 られ、さらに 橋が初代のもののすぐ北側に架け 残っています。その 現在、橋脚の下部だけ 由来します した。その名称は、「潮見ざくら」に 初代の桜橋は、昭和13年(193 昭和22年(1947) 後、2代目の が川底

GROUP

Q9大阪ガス 事業主体/株式会社アクティブライフ(大阪ガスグループ77.8%出資) www.activelife.co.jp

が、慶長20年(1615)に起こっに豊臣秀吉によって築かれました

大坂城は、天正11年(1583)

た大坂夏の陣によって豊臣家が滅

締切 30名 7/22

認知症の方の介護と暮らしを 考えるセミナー開催

第1部 笑顔で暮らせる安心な住まいの選び方 講師 シニアの暮らし研究所 高齢者住宅アドバイザー 岡本 弘子氏

第2部 アクティブライフが運営するグループホームの紹介 その他、介護相談など

|2015年**7月25**日(土) 14時~16時半

芦屋市民センター内

芦屋市民会館 301会議室

株式会社アクティブライフ ☎06-6264-3623 担:要用

グループホーム デイサービス (ケアプラン)

アクティブライフ芦屋 〒659-0013 芦屋市岩園町11-15 **23** 0797-34-6500



アクティブライフ山芦屋 〒659-0082 芦屋市山芦屋町9-18 **230797-25-7100**



広告

